

五戸総合病院での研修を終えて

令和2年7月 地域医療研修
十和田市立中央病院 初期研修医 奥 詩織

令和2年7月に五戸総合病院 内科にて地域医療研修をさせて頂きました、十和田市立中央病院初期研修医の奥と申します。この度は研修にご協力頂き誠にありがとうございました。

今年度は新型コロナウイルス感染流行により院外研修そのものが難しくなっている現状ですが、そんな中で無事に地域医療研修を修了できたことを大変有難く存じます。私が生まれ育った十和田市と五戸町は車で30分程度の近い距離にあるのですが、これまで五戸町に降り立ったことが無く今回が初めてとなりました。土地が平坦な十和田と比べ五戸はより緑豊かであり坂の多い道路が印象的で、毎日の通勤で少しリフレッシュできました。

内科研修では外来の仕事をさせて頂く事が多かったです。これまで一般外来の経験は新患を担当することがほとんどだったため、内服継続の患者さんを相手に仕事をするのは初めてでした。基本的に患者さんは「薬をもらいにきました」という事が多いですが、定期検査で異常がある場合などは指導医である佐藤先生と相談しながら勉強させて頂きました。一般外来は入院中の管理や救急外来と異なり、次回受診まで数か月の期間が空くので一回のごく短い診療に大きな責任を伴うものだと実感し、改めて慢性疾患の長期的なコントロールを勉強しなければと考えさせられました。

また、入院についても初期研修先の病院は急性期病院ですが、五戸総合病院は慢性期医療を担う病院であるためより長期的に患者さんが入院する事ができるなど病院としての機能の違いを実感しました。

訪問診療を体験させて頂きましたが、看取りを行っている高齢福祉施設である素心苑の施設長から最期について本人の意思を尊重し毎日を大事に過ごすという考え方について教えて頂いたのが特に印象深いです。また、患者さんのご自宅に伺う現場も初めて見ましたが短い時間の診療でもご家族との絆のようなものが垣間見え貴重な体験をさせて頂けたと感じます。

他にも胃瘻造設や腹部超音波検査、帝王切開の助手等もさせて頂き、短い期間でしたが毎日様々な事を体験させて頂きました。小児科の定期ワクチン接種や乳幼児健診で子供と触れ合えた事もとても楽しい思い出となりました。

今回の研修にあたって、内科の佐藤先生をはじめとして各科の先生方やコメディカルの皆様、関係施設の方々等に深く感謝を申し上げます。この一か月間で学んだ事を今後の診療に活かし、いずれは青森県のために活躍できるような医師を目指したいと思います。